

令和4年5月27日  
愛媛大学

## 「EU アドバンスド・リサーチ・フェローシップ フェローシップ学生と学長等の懇談会」を開催します

EU アドバンスド・リサーチ・フェローシップは、次代の科学技術を担う愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程のフェローシップ学生（以下「FS 学生」）に対し、研究に専念できる環境と、研究力向上・キャリアパス支援など、総合的な学生支援プログラムを提供するものです。この事業の一環として、FS 学生と愛媛大学学長・運営会議委員とが初めて顔を合わせる懇談会を開催します。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

### 記

日 時：令和4年5月31日（火） 15時30分～16時20分

場 所：愛媛大学本部 5階 第1会議室（松山市道後樋又10番13号）

目 的：FS 学生と、学長等が初めて顔を合わせる場であり、親しく懇談することにより、FS 学生の今後に向けた意欲向上を図る。

参加者：FS 学生6名、仁科学長、運営会議委員、指導教員等

※詳細は別紙をご参照ください。

### 【取材に関するお願い】

取材にお越しいただける場合は、5月30日（月）正午までに、電話又はメールにて以下問い合わせ先までご一報ください。

本件に関する問い合わせ先

大学院理工学研究科

特定教授 瀬野 英二

TEL：089-927-9901

Mail：seno.eiji.ib@ehime-u.ac.jp

※送付資料3枚（本紙を含む）

## ①EU アドバンスド・リサーチ・フェローシップとは

【事業背景】博士後期課程の学生は、次代の科学技術を担う貴重な存在です。しかし、近年、博士後期課程における経済的な不安と研究者としてのキャリアパスが不透明であることから、我が国では、博士後期課程に進学する学生が減少傾向にあります。このため、文部科学省では、令和3年度に「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」を策定し、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの確保を、全学的な戦略の下で一体として実施する大学に対して補助金の支援を開始しており、愛媛大学では、この事業に採択されました。EU アドバンスド・リサーチ・フェローシップ事業と命名し、令和3年度の試行を経て、令和4年度から本格的に実施します。

【実施概要】愛媛大学では、大学院理工学研究科博士後期課程の学生から選抜した FS 学生に、処遇向上とキャリアパスの確保のための3つの支援を行って、社会に輩出します。

### ①研究専念支援：

FS 学生に対し、3年間、月15万円の研究専念支援金と年30万円の研究費を支給することで、研究に専念できる環境を提供します。

### ②研究力向上・キャリアパス支援：

FS 学生に対し、英語力、外部資金獲得力、プレゼン力、コミュニケーション力、キャリアパス開拓力等をつけるための講演会や演習、外部機関でのインターンシップ等、研究力や社会人材の向上を図る4つの教育プログラムを実施します。

### ③キャリアパス確保支援：

FS 学生の、博士後期課程修了後のアカデミック機関や民間企業等の研究職ポストが確保できるよう支援します。



## ②当事業における「フェローシップ学生と学長等の懇談会」の位置づけ

■目的 支援がスタートするのに合わせて、博士後期課程1年次のFS学生と、学長・運営会議委員とが初めて顔を合わせる場を設定し、学長等と親しく懇談することにより、FS学生の今後に向けた意欲向上を図るものです。

■日時 令和4年5月31日（火） 15時30分～16時20分

■場所 愛媛大学本部 5階 第1会議室（松山市道後樋又10番13号）

■参加者 FS学生：6名  
関係教員：仁科 弘重 学長  
《運営会議委員》  
満田 憲昭 理事・副学長  
高橋 寛 大学院理工学研究科長  
高橋 亮治 大学院理工学副研究科長  
郭 新宇 沿岸環境科学研究センター長  
入船 徹男 地球深部ダイナミクス研究センター長  
澤崎 達也 プロテオサイエンスセンター長  
栗木 久光 宇宙進化研究センターセンター長  
平岡 耕一 大学院理工学研究科教授  
座古 保 大学院理工学研究科教授  
指導教員、関係職員、コーディネーター

■次第 ◎大学教員の紹介  
◎FS学生の自己紹介 及び 今後の抱負  
指導教員からのフォロー  
◎学長よりメッセージ  
◎懇談  
◎参加者の記念撮影

【参考】★昨年度（1期生）の懇談会の様子



FS学生にメッセージを伝える仁科学長



FS学生と参加教員による記念撮影